

学校・社会教育講座って何？

— 立教大学で教員・学芸員・司書などの資格を取得するには —

この冊子は、学校・社会教育講座で資格を取得するための科目履修ガイドブックです。

これから学校・社会教育講座において資格を取得したいと考えている方は、このガイドブックをよく読んで、必要な手続きを行ってください。

立 教 大 学
学校・社会教育講座

目 次

I 学校・社会教育講座とは	2
II 科目履修までの流れ	3
III 資格を取得するかどうかを検討する	4
IV 講座登録を行う	6
V 履修する講座科目を決定する	9
VI 講座科目の履修登録を行う	10
VII 教職課程の履修について	11
VIII 学芸員課程の履修について	14
IX 司書課程図書館司書コースの履修について	15
X 司書課程学校図書館司書教諭コースの履修について	16
XI 社会教育主事課程の履修について	17
学校・社会教育講座に関してよくある質問	18
教員から新入生へのメッセージ	21
学校・社会教育講座専任教員紹介	21

I 学校・社会教育講座とは

学校・社会教育講座（以下、講座）は、学校教育ならびに社会教育に関する専門職員を志望する方を対象に、そのために必要な資格の取得を目的として設置されたものです。教職課程、学芸員課程、司書課程（図書館司書コース／学校図書館司書教諭コース）、社会教育主事課程の4つの課程があります。

講座の各課程で取得できる資格はいずれも学士（教育職員免許状のうち専修免許状は修士）の学位取得が前提であり、資格取得のためには、在籍する学科のカリキュラムと並行して講座各課程のカリキュラムを履修し、所定の要件を満たして卒業する必要があります。

各課程の概要は次のとおりです。

■ 教職課程

中学校、高等学校の教育職員（以下、教員）に必要な免許状を取得するための課程です。

取得できる免許状の教科は学科（専攻）ごとに決められており、免許状を取得できない学科（専攻）もあります（13頁参照）。なお、小学校教員の免許状は文学部教育学科初等教育専攻課程に在籍する学生のみが取得できます。

■ 学芸員課程

学芸員資格を取得するための課程です。

学芸員とは「博物館法」に定められた資格で、同法に規定された「博物館」に置かれ、博物館や美術館、動物園、水族館などにおいて資料や作品の収集、整理、保管、展示及び調査研究などを行う専門職員です。

■ 司書課程

図書館司書コースと学校図書館司書教諭コースとの2つのコースがあります。

図書館司書コースでは、「図書館法」に定められた、図書館の専門職員である司書資格を取得することができます。

学校図書館司書教諭コースでは、「学校図書館法」に定められた司書教諭資格を取得することができます。なお、司書教諭資格の取得には、教員免許状を取得すること、またはすでに取得していることが必要です。

■ 社会教育主事課程

社会教育主事任用資格を取得するための課程です。

社会教育主事とは、「社会教育法」に定められた資格で、都道府県及び市区町村の教育委員会事務局に置かれ、地域の人々の学習活動を支援するための催しの企画・実施、青少年施設等での活動の支援・助言などを行う専門職員です。なお、社会教育主事課程を修了すれば、「社会教育士（養成課程）」の称号も同時に付与されます。

Ⅱ 科目履修までの流れ

資格を取得するかどうかを検討する（4 ㉟参照）

- 【ポイント】
- 1 各課程の内容を理解する。
 - 2 卒業要件単位の修得との両立を考える。
 - 3 卒業後の進路において資格をどのように活かすのかを考える。

講座登録を行う 「1 Web サイトからの登録」（6 ㉟参照）

- 【ポイント】 Web サイトの「履修登録システム」から登録する。
※講座が設置する科目（科目コードが G で始まる科目）の履修登録を行うためには、この「Web サイトからの登録」が必要です。

履修する講座科目を決定する（9 ㉟、11 ㉟以降参照）

- 【ポイント】
- 1 開講科目を確認する。
➡講座の「履修要項」「R Guide」
 - 2 科目の詳細（内容、配当年次、開講学期等）を確認する。
〈講座設置科目〉
➡講座の「履修要項」「R Guide」「シラバス」
〈在籍学部・学科設置科目〉
➡在籍学部の「履修要項」「R Guide」「シラバス」

講座科目の履修登録を行う（10 ㉟参照）

- 【ポイント】 Web サイトの「履修登録システム」から登録する（これ以外の手続きによる場合もあります）。
※講座が設置する科目（科目コードが G で始まる科目）の履修登録を行うためには、「講座登録」のうち「Web サイトからの登録」が完了している必要があります。

講座登録を行う 「2 講座登録料の納入」（6 ㉟参照）

- 【ポイント】「Web サイトからの登録」完了者に送るメールにしたがって、講座登録料を納入する。
※「講座登録料の納入」を行わなかった場合、講座が設置する科目（科目コードが G で始まる科目）の履修登録は無効となります。

Ⅲ 資格を取得するかどうかを検討する

1 各課程の内容を理解する

資格を取得するかどうかを検討するために、まずは各課程の内容を理解してください。
各課程の内容については、4月のオリエンテーション期間中に行う各課程ガイダンスで説明します。また、次ページの「各課程修了生から新入生へ」も参考にしてください。

2 卒業要件単位の修得との両立を考える

各課程で取得できる資格はいずれも学士（教員免許状のうち専修免許状は修士）の学位取得が前提です。したがって、課程を修了して資格を取得するためには、在籍する学科を卒業するために必要な単位を修得しなければなりません。これに加え、法令に基づいて本学が定めた資格取得に必要な単位を修得することになります。

講座の履修開始は何年次からでも可能ですが、どの課程も1年間ですべての単位を修得することはできません。4年間で資格取得が保証されているわけでもありません。

各課程の必修科目の多くは講座が設置する科目（科目コードがGで始まる科目）で、これは卒業に必要な単位に算入することはできません。卒業に必要な科目と時間割が重複することや、海外留学をする場合、留学期間によっては講座の必修科目の履修等に影響が生じることもあります。また、課程により1週間から3週間の「実習」に参加することも必要です。「実習」は夏季休業期間中に行われるものもありますが、大学の授業期間中に行われるものもあります。その場合は授業を休んで参加しなければなりません。

大学院学生が新規に資格を取得する場合も条件は同じですので、研究に支障が生じないか十分に検討してください。3年次編入生については、2年間で資格取得に必要な単位を修得することは非常に困難です。

◆資格取得に必要な単位数

教職課程		76 単位以上	※2021 年度以前入学者は、「教育の基礎的理解に関する科目等」が 27 単位、合計 75 単位以上となる。
内 訳	教科及び教科の指導法に関する科目 (大学が独自に設定する科目を含む)	40 単位以上	
	教育の基礎的理解に関する科目等	28 単位	
	免許法施行規則第 66 条の 6 に定める科目	8 単位	
学芸員課程		23 単位以上	
司書課程図書館司書コース		32 単位以上	
司書課程学校図書館司書教諭コース		16 単位以上	※別途教員免許状取得のための単位が必要。
社会教育主事課程		24 単位以上	

3 卒業後の進路において資格をどのように活かすのかを考える

資格を取得しようとする場合、取得することだけを目的とするのではなく、その資格を卒業後どのように活かすのかということも重要です。卒業後の進路においてその資格が本当に必要であるか考え、資格を取得するかどうかを決めてください。

教職課程では、取得できる教員免許状の教科が学科（専攻）ごとに決められています。教員免許状を取得できない学科（専攻）もありますので注意してください（13 ページ参照）。

◆各課程修了生から新入生へ

もし教職課程を取るのなら、"自分は絶対に教員免許を取るんだ"という気持ちで受講してください。もし安易な気持ちで受講して途中であきらめるぐらいなら、はじめから講座を取らずに、余った時間で自分のしたいことをした方がいいと、私は思います。(教職)

教職課程を履修して気づいたことのひとつは、教師と生徒という教える関係は、どの授業でも触れられたので、他者について今まで以上に考えるようになったことだ。二つ目は課題や手続き書類提出など自己管理の難しさと重要さだ。この二つは社会に出たときに役立つことだと思う。中高生の心理を学ぶことで、「目に見えるものが全てではなく、内面を見る力」や「自分とは異なる意見でも見方を変えれば共通点が見つかる」という視点を学習した。これはひとりの人間として生きていく上で大切なことだと思う。(教職)

理系で実験も多く、教職課程との両立は本当に大変だったが、教職という目線から科学という分野に触れることで科学の持つ可能性や課題も見えてきた。学科の仲間との繋がり大切さも実感した。それがあったから両立ができたと思う。(教職)

履修科目数は多いし、提出期限は厳しいし、私は努力できる人にだけ教職課程履修を勧めたい。私は高3の担任の助言から教職を履修したが、卒論に教育史を選ぶほど、教職の授業を通して関心や意識が大きく変わり、大学院でさらに研究したいという気持ちが強くなった。(教職)

私は留学もしたので、教職課程を5年間履修したが、物事を多角的に見る、ということ学ぶ時間だったと思う。人間形成の重要な場である学校。それを講義と学生間のディスカッションを通して根本的に知り、考えたことで、自分の人生や教育のあり方を改めて考えることができた。(教職)

教職課程の授業は、学問的好奇心をかき立てられるものが多く、教員をファーストキャリアに選択しない私にとっても、生きていく上でとても大切なことを学ぶことが出来ました。(教職)

学科の勉強と教職課程の両立は厳しかったです。しかし、学科外の友人もできたし、教育実習は、自分を大きく成長させる体験でした。大学入学前に比べ、タフな精神力、マメさ、自発的に行動する力が身についたと思います。(教職)

学科の授業に加えて、講座の科目も受けるのは大変だと思いますが、無駄になる知識は一つもないと思います。また見学・学内実習は大変貴重で良い経験となりました。是非最後まで頑張ってください。(学芸員)

博物館の意義や歴史など基本的な部分から実習まで、幅広く学ぶことができました。時間割を組んだり、試験日程に合わせて準備をしたりすることが大変でしたが、計画的にすすめることで、無理なく履修できました。とても良い経験でした。(学芸員)

入学当初は特に考えていなかったが、自分が大学で学んでいることを活かした仕事ができないかと考えて、2年生から司書、学芸員の資格をとりたいたいと思い、履修しました。修得単位数が卒業単位と講座を合わせると200単位近かったので、3年生までは土曜日も含めて週6日授業のために学校に来ていました。根気があれば絶対に最後までやり遂げられるので、途中でめげずに頑張ってください。実習先での体験は何事にも代えがたい素晴らしいものになると思います！(学芸員・司書)

受講時は、非常に魅力的で個性的な講義が多く、講義が毎回楽しみであった。(司書)

聞きなれない資格ですが、教職志望ではないけれど教育を学びたい人や公務員志望の人におすすめします。私自身もこの履修をきっかけに、公務員の道に進むことになりました。他学部の方とのグループワークや実習など視野が広がる機会も多く、進路にかかわらず将来につながる学びになると、私は思います。(社会教育主事)

Ⅳ 講座登録を行う

資格を取得することを決めたら、取得する資格の課程へ「講座登録」を行ってください（大学院学生及び3年次編入生は、8頁の内容もご確認ください）。

登録できるのは2課程まで【注1】です。一度登録した課程の変更はできません。講座登録時期は年に1回、4月のみで、一度登録を行えば同一学籍（学生番号）の期間は有効です。2年次以降に登録（新規、課程追加）を行うことも可能です。

「講座登録」は、次の2つの手続きを行うことによって完了します【注2】。

※まずは学校・社会教育講座新規登録ガイダンスを視聴すること。

1 Web サイトからの登録

指定の期間内に Web サイトの「履修登録システム」にアクセスし、画面の指示にしたがって、取得する資格の課程への登録を行ってください。

指定の期間内であれば何度でも変更は可能ですが、指定の期間を過ぎるとアクセスできなくなりますので注意してください。

<登録期間>

4月2日（水）11:00～4月8日（火）15:00 締切

<履修登録システム URL>

<https://r.rikkyo.ac.jp/>

「Web サイトからの登録」を行うことによって、講座が設置する科目（科目コードが G で始まる科目）の履修登録が可能となります。ただし、履修登録後に「講座登録料の納入」を行わなかった場合、その履修登録は無効となります。

2 講座登録料の納入

「Web サイトからの登録」を行った方は、指定の期間に所属キャンパスの教務事務センターで講座登録料を納入する必要があります。

<納入期間>

4月14日（月）～15日（火）窓口開設時間（9:00～17:00）

※詳細については、講座の R Guide「講座登録」のページを確認すること。

<登録料>

教職課程	35,000 円【注3】
学芸員課程	35,000 円
司書課程（図書館司書コース）	35,000 円
司書課程（学校図書館司書教諭コース）	15,000 円
社会教育主事課程	30,000 円【注4】

-
- 【注 1】「教職課程」「学芸員課程」「司書課程図書館司書コース」「社会教育主事課程」の 4 課程から 2 課程まで登録可能。「司書課程学校図書館司書教諭コース」は、教職課程登録者、文学部教育学科初等教育専攻課程在籍（予定）者、教員免許状既取得者に限り、上記 2 課程とは別に登録可能。
- 【注 2】大学院博士課程後期課程進学者については「講座登録料の納入」が免除される場合があります（詳細については講座の「履修要項」を参照）。
- 【注 3】文学部教育学科初等教育専攻課程在籍者は、教職課程の登録ならびに教職課程設置科目の履修は認めない。1・2 年次に教職課程を登録した場合、3 年次で初等教育専攻課程に進んだ時点で教職課程の登録は取り消しとなる。この場合、すでに納入されている講座登録料は返還しない。
- 【注 4】文学部教育学科、観光学部、コミュニティ福祉学部、現代心理学部、スポーツウエルネス学部の学生は 20,000 円。

◆大学院学生及び3年次編入生へ

次の該当する項目の内容にしたがって、必要な手続きを行ってください。

		必要書類【注3】	
大学院学生	教職課程 【注1】	—	取得を希望する専修免許状と同一校種・教科の一種免許状を取得している ・「講座登録」は不要です。 ・大学院修了までに、指定された自専攻開設科目を 24 単位以上修得してください（講座の「履修要項」参照）。
		①、②、④	一種免許状を取得しているが、取得を希望する専修免許状と同一校種・教科ではない
		②又は③、④	一種免許状を取得していない
			・取得を希望する校種・教科の一種免許状及び専修免許状両方の取得に必要な単位を修得する必要があります（講座の「履修要項」参照）。 ・提出期限までに「必要書類」を提出してください。なお、希望者には、提出された書類をもとに「履修指導書」を作成してお渡しします。 ・「講座登録」及び今年度春学期の履修登録を行ってください。 ・大学院修了までに、指定された自専攻開設科目を 24 単位以上修得してください（講座の「履修要項」参照）。
	学芸員・司書・社会教育主事各課程 【注2】	—	・「講座登録」及び今年度春学期の履修登録を行ってください。 ・学芸員課程は修了に最低 3 年間必要ですが、大学院学生及び 3 年次編入生には履修上の特別措置があります（講座の「履修要項」参照）。
3 年次編入生	教職課程 【注1】	①、②、④	取得を希望する一種免許状と異なる校種・異なる教科の免許状を取得している
		②又は③、④	免許状を取得していない
			・取得を希望する校種・教科の一種免許状取得に必要な単位を修得する必要があります（講座の「履修要項」参照）。 ・提出期限までに「必要書類」を提出してください。なお、希望者には、提出された書類をもとに「履修指導書」を作成してお渡しします。 ・「講座登録」及び今年度春学期の履修登録を行ってください。

必要書類

①教員免許状（表裏両面）のコピー

②取得を希望する校種・教科に関する「学力に関する証明書」（平成 28 年改正法。ただし、3 年次編入生は適用となる免許法が異なる場合があるので事前に確認のこと）

③「基礎資格及び単位修得証明書」

④「教職課程調査票」※用紙は新入生オリエンテーション Web サイトまたは SPIRIT の学校・社会教育講座事務室のページからダウンロードしてください。

※証明書の発行には日数を要する場合があるため、発行申請は余裕をもって行ってください。

提出期限

2025 年 4 月 2 日（水）17:00

提出場所

学校・社会教育講座事務室（池袋キャンパス 2 号館 1 階）

- 【注1】・在籍する学科・専攻が、取得を希望する免許教科の課程認定を受けていることが必要です。
・大学院学生の場合、取得を希望する校種・教科の一種免許状の課程認定を受けている学科出身であることが必要です。
・中学校免許状取得希望者で介護等体験を終了していない場合は、介護等体験を行う必要があります。
- 【注2】・本学の課程を修了するためには、各課程が定めた科目の単位をすべて本学で修得する必要があります。
・本学以外の大学等で修得した資格取得要件科目の単位がある場合、不足分の単位だけを本学で修得することもできます（この場合、本学の課程修了とはなりません）。その際、本学以外の大学等で単位修得した科目をもって各課程の先修科目の単位修得に代えることを希望する場合は、履修を希望する学期の履修登録期間中（科目コード登録の最終日まで）に、「単位修得証明書」を池袋キャンパスの学校・社会教育講座事務室に提出してください。ただし、司書課程の「図書館概論」については、必ず本学で単位修得しなければなりません。
- 【注3】・本学出身者は、②③の書類の提出は不要です。
・教職課程で中学校免許状取得希望者のうち介護等体験を終了している場合は、「介護等体験証明書」（原本）も提出してください。

V 履修する講座科目を決定する

資格を取得することを決めたら、講座登録のうち「Web サイトからの登録」を行うとともに、資格取得に必要な科目（以下、講座科目）の履修登録を行うために、履修する講座科目を決定します。

講座科目は在籍する学科の科目と並行して履修することになりますので、次の要領で、今年度履修する科目を決定してください。

科目決定にあたっては、講座及び在籍学部「履修要項」「R Guide」「シラバス」をご覧ください。

1 在籍学科の科目を確認し決定する

今年度当該学期に開講する、在籍学科の卒業に必要な、配当年次を満たす全学共通科目及び専門教育課程科目を確認し、履修する科目を決定してください。

2 講座科目を確認し決定する

上記 1 の作業を行ったのち、空いている時限に講座科目を入れます。

今年度当該学期に開講する、配当年次を満たす講座科目を確認し、履修する科目を決定してください。所属キャンパス開講科目を履修するよう指示がある場合は、その指示にしたがってください。特に指示がない場合は、池袋・新座どちらのキャンパス開講科目を履修してもかまいません（昼休みを挟む場合を除き、異なるキャンパスでの開講科目を連続して履修することはできませんので注意してください）。

課程ごとの科目選択のポイントについては、11 頁以降の各課程の「履修について」をご覧ください。

なお、課程によっては（特に、教職課程や新座キャンパスの学生対象の社会教育主事課程）、全学共通科目や専門教育課程科目を講座科目として設定している場合があります。それらの科目については、修得した単位を、在籍学部の「履修要項」にしたがって卒業に必要な単位としても算入することができます。

講座が設置する科目（科目コードが G で始まる科目）の単位は、各年度の履修登録上限単位数にも卒業要件単位数にも含まれません。

Ⅵ 講座科目の履修登録を行う

今年度当該学期に履修する科目が決まったら、指定の期日・時間内に Web サイトの「履修登録システム」にアクセスし、画面の指示にしたがって履修登録を行ってください。

<登録期日・時間>

講座及び在籍学部「R Guide」で確認してください。

<履修登録システム URL>

<https://r.rikkyo.ac.jp/>

履修登録を行うにあたっては、次の点に注意してください。

- (1) 講座が設置する科目（科目コードが G で始まる科目）の履修登録を行うためには、「講座登録」のうち「Web サイトからの登録」が完了していることが必要です。なお、履修登録を行っても、そのあとで「講座登録料の納入」を行わなかった場合、その履修登録は無効となります。
- (2) 「自動登録」や「その他登録」など「履修登録システム」からの登録とは異なる方法で履修登録を行う科目もあります。履修登録を行う際には履修登録方法をよく確認し、「履修要項」「R Guide」にしたがって手続きを行ってください。

VII 教職課程の履修について

教員免許状には、学士の学位を基礎資格とする一種免許状と、修士の学位を基礎資格とする専修免許状とがあり、取得できる免許状の教科は文部科学省から認定を受けたものに限られます。

本学で取得できる免許状の種類・教科は13分野のとおりです。在籍学科（専修）・専攻で認定を受けている教科以外の免許状を取得することは、原則としてできません【注】。

一種免許状を取得するためには、下表のとおり「法令上の科目区分」ごとに最低修得単位をすべて修得する必要があります。

本学ではこれに基づき、学科ごとに、教職課程を修了するために必要な単位数を定めています（法令上の単位数とは異なる場合があります）。本学の教職課程を修了するために必要な単位数（免許状取得要件単位数）については、講座の「履修要項」をご覧ください。

法令上の科目区分		最低修得単位数	
		中学校一種	高等学校一種
教科及び教科の指導法に関する科目	教科に関する専門的事項	20 単位	20 単位
	各教科の指導法（情報通信技術の活用を含む。）	8 単位	4 単位
教育の基礎的理解に関する科目		10 単位	10 単位
道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目		11 単位	9 単位
教育実践に関する科目		7 単位	5 単位
大学が独自に設定する科目		4 単位	12 単位
教育職員免許法施行規則第 66 条の 6 に定める科目	日本国憲法	2 単位	
	体育	2 単位	
	数理、データ活用及び人工知能に関する科目又は情報機器の操作	2 単位	
	外国語コミュニケーション	2 単位	

本学では、「法令上の科目区分」に対応する科目を、次のとおり設置しています。

(1) 教科に関する専門的事項に関する科目

取得する免許教科に関する科目です。在籍する学部・学科の専門教育課程科目として設置されている科目から設定されており、修得した単位は、在籍学部の「履修要項」にしたがって卒業に必要な単位としても算入することができます。

具体的な科目名については、講座の「履修要項」「R Guide」で確認してください。また、科目の詳細については、在籍学部の「履修要項」「R Guide」「シラバス」で確認してください。

そのうえで履修する科目を決定し、在籍学部の「履修要項」「R Guide」にしたがって履修登録を行ってください。

なお、所定の 20 単位を超えて修得した単位は、「大学が独自に設定する科目」に算入されます。

【注】文学部文学科の学生については、他専修で認定を受けている教科の免許状の取得を認める場合があります。また、保健体育の免許状については、課程認定を受けている学科以外の学生の取得を認める場合があります。詳細については講座の「履修要項」をご覧ください。

(2) 教育の基礎的理解に関する科目等

学校教育に必要な基礎理論に関する科目です。その多くは講座が設置するものです(科目コードが G で始まる科目)。

具体的な科目名及び科目の詳細については、講座の「履修要項」「R Guide」「シラバス」で確認してください。

そのうえで履修する科目を決定し、講座の「履修要項」「R Guide」にしたがって履修登録を行ってください。

学部 1 年次生が履修できる、講座が設置する科目（科目コードが G で始まる科目）

＜春学期開講科目＞

教育原論、教育心理学、道德教育の理論と方法（中学校免許状取得時に必要）

＜秋学期開講科目＞

教育制度論・教育課程論、生徒・進路指導の理論と方法

(3) 教育職員免許法施行規則第 66 条の 6 に定める科目

すべての教員に共通に求められる現代的リテラシーを深める科目です。主として全学共通科目（在籍学部設置科目の場合もあります）として設置されており、修得した単位は、在籍学部の「履修要項」にしたがって、卒業に必要な単位としても算入することができます。

具体的な科目名については、講座の「履修要項」「R Guide」で確認してください。また、科目の詳細については、在籍学部の「履修要項」「R Guide」「シラバス」で確認してください。

そのうえで履修する科目を決定し、在籍学部の「履修要項」「R Guide」にしたがって履修登録を行ってください。「外国語コミュニケーション」については、卒業に必要な全学共通科目言語教育科目が充当されるので、教職課程の科目として改めて履修する必要はありません。

なお、中学校の免許状取得には、介護等体験が必要です。詳細については、講座の「履修要項」「R Guide」で確認してください。

介護等体験

小・中学校免許状取得希望者には、都道府県教育委員会への免許申請時に、しょうがいしゃ、高齢者等に対する介護・介助・これらの人たちとの交流等の体験（＝介護等の体験）を行った旨の証明書を添付することが義務付けられています。

【体験期間】

- ・ 社会福祉施設（老人ホーム、児童養護施設等） 5 日間
- ・ 特別支援学校 2 日間

計 7 日間

※登録料とは別に、体験費の納入があります。

◆ 本学が認定を受けている教員免許状の種類・教科一覧 << 2019 年度以降入学学生適用 >>

学部（一種免許状）

【池袋キャンパス】

学 部	学 科	免許教科		
		小学校 (一種)	中学校 (一種)	高等学校 (一種)
文学部	キリスト教学科	/	社 会 宗 教	地理歴史 公 民 教 育
	史学科	/	社 会	地理歴史 公 民
	教育学専攻課程	/	社 会	公 民
		小学校	/	/
	文学科	英米文学専修	英 語	英 語
		ドイツ文学専修	ドイツ語	ドイツ語
		フランス文学専修	フランス語	フランス語
		日本文学専修	国 語	国 語
		文芸・思想専修	国 語	国 語
経済学部	経済学科	/	/	地理歴史
	会計ファイナンス学科	/	/	商 業
	経済政策学科	/	社 会	公 民

学 部	学 科	免許教科		
		小学校 (一種)	中学校 (一種)	高等学校 (一種)
理学部	数学科	/	数 学	数 学 情 報
	物理学科	/	理 科	理 科
	化学科	/	理 科	理 科
	生命理学科	/	理 科	理 科
社会学部	社会学科	/	社 会	公 民
	現代文化学科	/	社 会	公 民
	メディア社会学科	/	社 会	公 民
法学部	法学科	/	社 会	公 民
	政治学科	/	/	地理歴史
異文化コミュニケーション学部	異文化コミュニケーション学科	/	英 語	英 語

【新座キャンパス】

学 部	学 科	免許教科		
		小学校 (一種)	中学校 (一種)	高等学校 (一種)
観光学部	交流文化学科	/	社 会	地理歴史
コミュニティ福祉学部	福祉学科	/	/	福 祉※
	コミュニティ政策学科	/	社 会	公 民
	スポーツウエルネス学科※	/	保健体育	保健体育

学 部	学 科	免許教科		
		小学校 (一種)	中学校 (一種)	高等学校 (一種)
スポーツウエルネス学部	スポーツウエルネス学科	/	保健体育	保健体育

※は 2022 年度入学学生まで。

大学院（専修免許状）

研究科	専 攻	免許教科		
		小学校 (専修)	中学校 (専修)	高等学校 (専修)
キリスト教学研究科	キリスト教学専攻	/	社 会 宗 教	地理歴史 公 民 教 育
文学研究科	日本文学専攻	/	国 語	国 語
	英米文学専攻	/	英 語	英 語
	ドイツ文学専攻	/	ドイツ語	ドイツ語
	フランス文学専攻	/	フランス語	フランス語
	史学専攻	/	社 会	地理歴史 公 民
	超域文化学専攻	/	社 会	地理歴史 公 民
	教育学専攻	小学校	社 会	公 民
	経済学専攻	/	社 会	地理歴史 公 民 商 業
社会学研究科	社会学専攻	/	社 会	公 民
法学研究科	法学政治学専攻	/	社 会	公 民

研究科	専 攻	免許教科		
		小学校 (専修)	中学校 (専修)	高等学校 (専修)
理学研究科	物理学専攻	/	理 科	理 科
	化学専攻	/	理 科	理 科
	数学専攻	/	数 学	数 学
	生命理学専攻	/	理 科	理 科
観光学研究科	観光学専攻	/	社 会	/
コミュニティ福祉学研究科	コミュニティ福祉学専攻	/	社 会 保健体育※	公 民 福 祉※ 保健体育※
社会デザイン研究科	社会デザイン学専攻	/	社 会	公 民
異文化コミュニケーション研究科	異文化コミュニケーション専攻	/	英 語	英 語
スポーツウエルネス学研究科	スポーツウエルネス学専攻	/	保健体育	保健体育

※は 2022 年度入学学生まで。

Ⅷ 学芸員課程の履修について

学芸員課程を修了するためには、次のとおり指定の科目の単位を合計 23 単位以上修得する必要があります。

具体的な科目名及び科目の詳細については、講座の「履修要項」「R Guide」「シラバス」で確認してください。

そのうえで履修する科目を決定し、講座の「履修要項」「R Guide」にしたがって履修登録を行ってください。

必修科目	10 科目 19 単位
選択必修科目	2 科目 4 単位以上

必修科目の履修にあたっては、次の条件を満たす必要があります。そのため、学芸員課程を修了するためには、原則として最低 3 年間かかります【注 1】。

- (1) 学芸員課程に登録した年度の春学期に「博物館概論」を履修しなければならない（単位を修得できなかった場合は、秋学期以降開講の学芸員課程科目の履修はできない）【注 2】。
- (2) 「見学・学内実習」を履修するためには、前年度までに「博物館概論」及び「博物館資料論」「博物館展示論」「博物館教育論」「生涯学習概論（学・司）」（または「生涯学習概論 1」）の 4 科目から 2 科目の単位を修得していなければならない。
- (3) 「博物館実習（館園実習）」を履修するためには、前年度までに「見学・学内実習」の単位を修得していなければならない。

学部 1 年次生が履修できる、講座が設置する科目（科目コードが G で始まる科目）

<春学期開講科目>

必修科目：博物館概論、博物館資料論、生涯学習概論（学・司）／生涯学習概論 1
博物館資料保存論

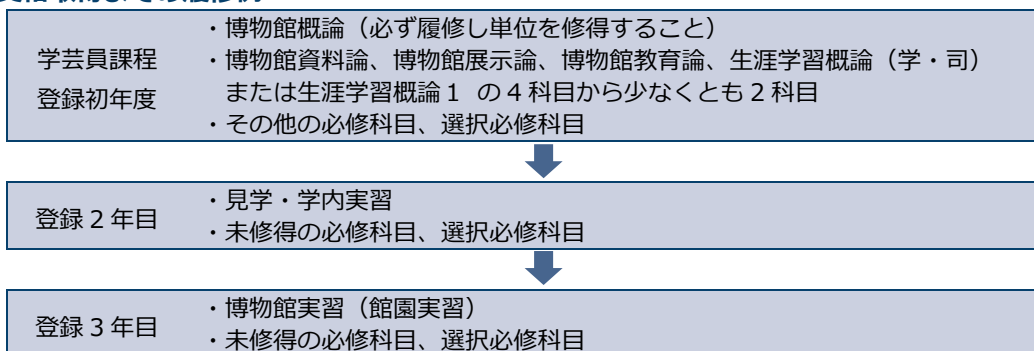
選択必修科目：美術史 1、民俗学 1

<秋学期開講科目>

必修科目：博物館展示論、博物館教育論、博物館経営論、博物館情報・メディア論

選択必修科目：日本文化史 1、考古学 1、博物館論演習

◆資格取得までの履修例



【注 1】 詳細は、講座の「履修要項」を参照してください。また、大学院学生及び本学以外からの 3 年次編入生についても、同「履修要項」を参照してください。

【注 2】 「生涯学習概論（学・司）」及び「生涯学習概論 1」を除く。

IX 司書課程図書館司書コースの履修について

司書課程図書館司書コースを修了するためには、次のとおり指定の科目の単位を合計 32 単位以上修得する必要があります。

具体的な科目名及び科目の詳細については、講座の「履修要項」「R Guide」「シラバス」で確認してください。

そのうえで履修する科目を決定し、講座の「履修要項」「R Guide」にしたがって履修登録を行ってください。

必修科目	14 科目 28 単位
選択必修科目	2 科目 4 単位以上

必修科目の履修にあたっては、次の条件を満たす必要があります【注 1】。

- (1) 司書課程図書館司書コースに登録した年度の春学期に「図書館概論」を履修しなければならない（単位修得できなかった場合は、秋学期以降開講の本コース設置科目の履修はできない）【注 2】。
- (2) 「情報検索演習」及び「情報サービス演習」を履修するためには「情報サービス論」の単位を、「メタデータ演習」及び「情報アーキテクチャ演習」を履修するためには「情報資源組織論」の単位を、それぞれ修得していなければならない。
- (3) 「図書館実習」を履修するためには、前年度までに先修科目の単位を修得していなければならない（詳細については講座の「履修要項」を参照）。

学部 1 年次生が履修できる科目

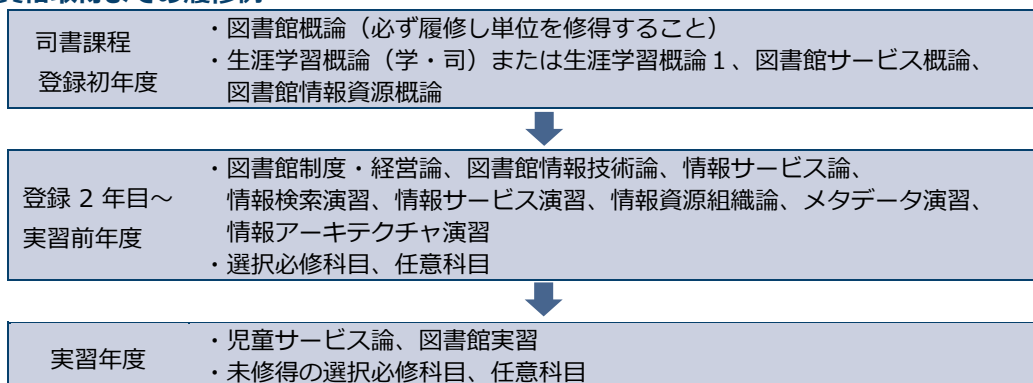
<春学期開講科目>

必修科目：図書館概論、生涯学習概論（学・司）／生涯学習概論 1

<秋学期開講科目>

必修科目：図書館サービス概論、図書館情報資源概論

◆資格取得までの履修例



【注 1】 詳細は、講座の「履修要項」を参照してください。

【注 2】 「生涯学習概論（学・司）」及び「生涯学習概論 1」を除く。

X 司書課程学校図書館司書教諭コースの履修について

司書課程学校図書館司書教諭コースを修了するためには、教員免許状を取得し、かつ、次のとおり指定の科目の単位を修得する必要があります。

具体的な科目名及び科目の詳細については、講座の「履修要項」「R Guide」「シラバス」で確認してください。

そのうえで履修する科目を決定し、講座の「履修要項」「R Guide」にしたがって履修登録を行ってください。

必修科目	8科目 16単位
------	----------

必修科目の履修にあたっては、次の条件を満たす必要があります。

- 司書課程学校図書館司書教諭コースに登録した年度の春学期に「図書館概論」を履修しなければならない（単位修得できなかった場合は、秋学期以降開講の本コース設置科目の履修はできない）。

学部 1 年次生が履修できる科目

＜春学期開講科目＞

必修科目：図書館概論

＜秋学期開講科目＞

必修科目：図書館情報資源概論、情報メディアの活用

XI 社会教育主事課程の履修について

社会教育主事課程を修了するためには、次のとおり指定の科目の単位を合計 24 単位以上修得する必要があります。

具体的な科目名及び科目の詳細については、講座の「履修要項」「R Guide」「シラバス」で確認してください。

そのうえで履修する科目を決定し、講座の「履修要項」「R Guide」にしたがって履修登録を行ってください。その際、履修する科目は、必ず所属するキャンパスの科目表にしたがってください（所属するキャンパス以外の科目表に掲載されている科目を履修し単位を修得しても、課程修了要件とはなりませんので注意してください）。

必修科目	7 科目 16 単位
選択必修科目	4 科目 8 単位以上

1 池袋キャンパスの学生対象

学部 1 年次生が履修できる、講座が設置する科目（科目コードが G で始まる科目）

＜春学期開講科目＞

必修科目：生涯学習概論 1

選択必修科目：博物館概論、図書館概論、教育原論、教育心理学

＜秋学期開講科目＞

必修科目：生涯学習概論 2

2 新座キャンパスの学生対象

新座キャンパスの学生対象の科目は、そのほとんどが観光学部、コミュニティ福祉学部、現代心理学部、スポーツウエルネス学部の専門教育課程科目です。

科目選択及び履修登録に際しては、当該学部の「履修要項」「R Guide」「シラバス」を参照してください。

学校・社会教育講座に関してよくある質問

Q 1 何人ぐらいの学生が登録しているのですか？

A 1 2024 年度は、全学あわせて約 2,200 名の学生が講座に登録しています。2024 年度に新規登録した学生は、教職課程は 360 名、学芸員課程は 99 名、司書課程図書館司書コースは 44 名、学校図書館司書教諭コースは 6 名、社会教育主事課程は 39 名でした。毎年、登録している学生の 3〜4 割が資格を取得して卒業していますが、進路変更のため途中で履修をやめる学生も少なくありません。

Q 2 史学科に入学しました。小学校または英語の教員免許状を取得したいのですが、取得できますか？

A 2 いずれも取得することはできません。入学した学科で文部科学省から認定を受けている教科の教員免許状しか取得できません（認定を受けている教科については 13 ページをご覧ください）。
小学校の教員免許状については、本学では文学部教育学科初等教育専攻課程のみが認定を受けていますので、その課程に在籍する学生だけが取得できます。

Q 3 3 年次編入で入学しました。2 年間で教員免許状を取得できますか？ また、学芸員資格も 2 年間で取得できますか？

A 3 編入前の大学で教職課程をとっていた場合とそうではない場合とでは状況異なりますが、いずれにしても、2 年間で必要な単位をすべて修得するのは、時間割の重複等で難しい場合もあります。編入前の大学での単位修得状況をもとに、希望者には個別に履修指導を行いますので、8 ページをご覧ください。
学芸員課程修了には通常は 3 年間必要ですが、3 年次編入生については、登録 2 年度目に履修すべき科目を 1 年度目に履修することを認める場合があります。詳細については講座の「履修要項」をご覧ください。

Q 4 大学院に入学しました。私は学部時代に一種免許状を取得しており、大学院に進学すれば専修免許状を取得できると聞きました。どうすればいいのですか？ 教職課程に登録しなければならないのですか？

A 4 入学する専攻が、すでに取得している一種免許状と同一校種・教科の課程認定を受けていれば、指定された自専攻開設科目を 24 単位以上修得して大学院を修了することによって専修免許状を取得できます（詳細については講座の「履修要項」をご覧ください）。この場合、教職課程への登録は不要です。

Q 5 講座履修者への授業その他の手続きに関する連絡はどのように行われるのですか？

A 5 学校・社会教育講座にかかわる連絡は、Web 上の「教務部掲示板（学校・社会教育講座）」等で行います。掲示の見落としで生じる不利益は、本人の責任となります。

●教務部掲示板 学校・社会教育講座

https://spirit.rikkyo.ac.jp/academic_affairs/bulletin_board/SitePages/koza.aspx



Q 6 教職課程を履修しようと考えています。1 年間にどのくらいの単位を修得すればいいのでしょうか？ 1 年間に履修することができる上限単位が決められていると聞いたのですが…。

A 6 まず、どの科目も配当年次が決められています。配当されている学年より低学年の場合には、その科目を履修することはできません。

教職課程では、法令上の科目区分にしたがって科目が設置されています（詳細については 11 ページをご覧ください）。このうち、「教科に関する専門的事項」及び「教育職員免許法施行規則第 66 条の 6 に定める科目」については在籍学部・学科が設置する科目や全学共通科目です。その他の「教育の基礎的理解に関する科目」などは、講座が設置する科目（科目コードが G で始まる科目。1 年次生が履修できるのは 5 科目）です。いずれについても、学部 1 年次生が履修できる科目があれば履修してください。

ただし、1 年間に履修登録できる上限単位数が学科ごとに決められています（詳細については在籍学部の「履修要項」をご覧ください）ので、このことに注意して履修計画を立てる必要があります。

なお、講座が設置する科目については、上限単位数としてカウントされません。

Q 7 資格を活かして就職する卒業生は何人ぐらいいますか？

A 7 2023 年度卒業生の実績は、中学校・高等学校教員 41 名、学芸員関係 9 名、図書館・情報関係 2 名、社会教育関係 11 名です。ただし、この数字は学校・社会教育講座事務室に報告があったものに基づいていますので、実際にはもう少し多いと思われます。

Q 8 4 年間で資格取得に必要な単位を修得できなかった場合はどうすればよいのでしょうか？

A 8 卒業までに課程修了に必要な単位を修得できなかった場合は、卒業後に学校・社会教育講座の科目等履修生制度を利用して、不足分の単位を補うことができます。

また、本学の大学院に進学した場合は、改めて講座登録を行い、不足分の単位を補うことができます。

学校・社会教育講座の科目等履修生になるためには、選考試験に合格する必要があります。詳細については、教務事務センターにお問い合わせください。

Q 9 「実習」はどこへ行くのですか？ また、いつ頃、どのくらいの期間行うのですか？

A 9 課程ごとにお答えします。

＜教職課程＞

「教育実習」は、主に 4 年次に、中学校・高等学校の免許状取得希望者は 3 週間、高等学校の免許状取得希望者は 2 週間、原則として出身校で免許教科の実習を行います。

また、中学校の免許状取得希望者は、「介護等体験に関する特例法」（1998 年 4 月 1 日施行）に基づき、「教育実習」とは別に、社会福祉施設で 5 日間、特別支援学校で 2 日間、計 7 日間の「介護等体験」を行わなければなりません。

＜学芸員課程＞

登録 2 年目に「見学・学内実習」を、その翌年度に「博物館実習（館園実習）」を行います。

「見学・学内実習」の「見学実習」では、2 泊 3 日程度の日程で国内の博物館を訪ねます。「博物館実習（館園実習）」は、博物館等で 1～2 週間の実習を行います。

＜司書課程＞

所定の科目の単位を修得したのち、3 年次または 4 年次に、図書館（公共図書館、学校図書館、大学図書館、専門図書館等）で 2 週間の実習を行います。国外の図書館でも行っています。

＜社会教育主事課程＞

Q10 を参照してください。

Q 10 社会教育主事の任用資格を取得した場合、どのようなところに就職できるのでしょうか？

A 10 社会教育主事課程を修了し、公務員として任用され、さらに都道府県・市区町村教育委員会から「社会教育主事」として任命されることによって初めて社会教育主事として働くことができます。

残念ながら、最近は社会教育主事としての募集はなかなかなく、社会教育主事の任用資格をそのまま活かして就職するのは難しいというのが現状です。しかし、教育委員会や公民館、生涯学習センターなどの社会教育施設や、市民対象に学習機会を提供する NPO や施設を管理運営する企業等で働く場合にも、社会教育についての専門的な知見が要求されますので、こうした場で働くことを希望する場合は、是非この資格を取得してください。「社会教育実践演習」は 3 年次での履修を推奨していますが、2025 年度以降入学者は先修規定があり、「生涯学習概論 1 および 2」を履修済であることが必要です（大学院生は除く）。

「社会教育実践演習」では、社会教育の現場で 7 日～10 日の実習を行います。実習先は履修生の関心に基づいて確保することになりますが、自分で探し、交渉することで、コミュニケーションの力などの向上もめざしています。

なお、2020 年度から施行された新課程では、資格取得に必要な単位数に変更はありませんが、「社会教育経営論」と「生涯学習支援論」が新設され、「社会教育実習」が必修となりました。また、課程を修了した場合には、社会教育主事任用資格の取得に加え、「社会教育士（養成課程）」の称号が付与され、名刺にも記載できるようになりました。

「社会教育士」には、養成課程の学修成果を活かし、NPO や企業等の多様な主体と連携・協働して、社会教育施設における活動のみならず、環境や福祉、まちづくり等の社会の多様な分野における学習活動の支援を通じて、人づくりや地域づくりに携わる役割が期待されています。

教員から新入生へのメッセージ

◆教職課程から

学校・社会教育講座の教職課程は、公立・私立の中学校・高等学校の教員をめざす人たちのために開かれている課程です。取得できる免許教科（国語、数学など）は、みなさんが入学された学科の専門分野ごとに異なりますが、教職課程では、みなさんが立教大学で学び、身につけていく専門分野の知識を活かして、学校教育の場で中学生、高校生たちの成長を導き、支える専門職（学校教員）になることを応援していきます。

大学卒業に必要な科目以外に、教職課程の科目を履修することは決して楽なことではありませんし、最終的には学校教員以外の職業を選択する先輩たちも少なくありません。しかし、そうした先輩たちも含めて、教職課程を履修した人たちの多くが、教育について考え、学校現場について学んだことは得難い機会になったという感想をもって卒業していきます。教職課程で学ぶことは、大学卒業後に社会人として、また市民として、広く次世代を育てていくうえでも貴重な経験となることでしょう。

◆社会教育三課程から

学校・社会教育講座へようこそ！ みなさんは博物館や美術館に行ったことがありますか？ 地域の図書館を利用したことはありますか？ 公民館やコミュニティーセンターの講習会やイベントに参加したことはありますか？

このような施設で働く専門職員である「学芸員」や「司書」、そして「社会教育主事」それぞれの資格は、社会のなかで生活するすべての市民の学習をサポートし、学びを促進する役割を担う仕事につながります。残念ながら、現在はこれらの資格を活かして就職する機会はそう多くはありません。しかし、資格取得までの過程では、社会のなかで市民が学びを深め自ら学びを組織する意義について、キャンパス内で行う授業だけではなく、博物館や美術館、公共図書館、専門図書館、学校図書館、そして公民館などでの実習を通して体系的に学ぶことができます。その経験は、大学を卒業して社会人になり、博物館や図書館、公民館などを利用する立場となったときに、きっと役立つことでしょう。

学校・社会教育講座専任教員紹介

専任教員の専門領域と主な授業科目を紹介します。

<教職課程>

逸見敏郎（教授） （2025年度春学期研究休暇）	臨床心理学	教職概論、学校教育相談の理論と方法（ほか）
岩瀧大樹（教授）	学校心理学	教育心理学、道德教育の理論と方法（ほか）
奈須恵子（教授）	教育史	教育実践演習、社会・地理歴史科教育法 1（ほか）
下地秀樹（教授）	教育学	教育原論、社会・公民科教育法 2（ほか）
森田満夫（特別専任教授）	教育行政学	教職原論、教育制度論・教育課程論（ほか）
船橋一男（特任教授）	教育学	教育概論、教職実践演習（ほか）

<学芸員課程>

山形真理子（特任教授）	博物館学、考古学	博物館概論、考古学 1（ほか）
-------------	----------	-----------------

<司書課程>

中村百合子（教授）	図書館情報学	図書館概論、学校経営と学校図書館（ほか）
片山信子（特任教授）	図書館情報学	情報サービス論、情報サービス演習（ほか）

<社会教育主事課程>

三宅隆史（特任教授）	社会教育	生涯学習支援論 1・2、社会教育経営論 1・2（ほか）
------------	------	-----------------------------

立教大学学校・社会教育講座事務室

〒171-8501 東京都豊島区西池袋 3-34-1
池袋キャンパス 2 号館

☎ 03-3985-2229